

今月のテーマ

## ウポポイ開園3周年

村木美幸(アイヌ民族文化財団常勤理事)

アイヌ文化のことをもっとも話したい!  
本田優子と村木美幸の二人が、その魅力を交代で  
執筆するソノコ(=お便り)形式のエッセイです。

### ウ

ポポイの愛称で親しまれる民族共生象徴空間  
が今月、開園三周年を迎えます。アイヌ語を

第一言語とするウポポイ。施設や設備、展示等々にも  
アイヌ語が付けられています。民族共生象徴空間の  
アイヌ語は「ウアイヌコロコタン」。「ウ」は「互いに」、  
「アイヌコロ」は「尊敬する」という意味で、「コタン」は  
「集落」ですが、ここではウポポイ

の空間、場所のこと。つまり「尊  
敬しあう場所」という意味。互  
いの歴史、文化を学び、感じ、考  
え、理解する。ウポポイにびつた  
りなネーミングですよ。アイヌ  
語やアイヌ文化の復興・創造の  
拠点として、アイヌの尊厳を尊  
重し、多様で豊かな文化を持つ  
活力ある社会を築く象徴とし  
てウポポイは開設されました。

新型コロナウイルス感染症の影  
響で二度の開園延期、入場制限

や休園などコロナ対策に追われた三年間でしたが、お  
蔭さまをもちまして、九十万人近い方々に来園いた  
だきました。イヤイヤケレ(ありがとご)ございます。

コロナ感染症の感染症法上の分類が引き下げられ  
たことによる感染対策の緩和に伴い、ウポポイの入場  
や体験プログラムなどの対応も少しずつ変化していま



イラスト/山丸ケニ

一緒に歌ったり踊ったり、民族衣装を着る体験、タツ  
チパネルなど触れる探究展示も少しずつ再開されてい  
ます。来園者とスタッフがより近い距離で「コミュニケー  
ションをとる体験はリピーターにも好評です。

今月、八日〜十七日には三周年記念の特別イベント  
が開催されます。記念式典をはじめ、各地のアイヌ料

理を味わったり、伝統芸能を一  
緒に踊ったりと参加交流型のプ  
ログラムや景品が当たるスタン  
プラリーも。レストランシヨッ  
プでは「鹿肉フェア」と美味し  
くて楽しい企画が満載。もちろ  
ん、アイヌ語学習プログラムや  
刺繍などの通常の体験も楽し  
めます。博物館の特別展「アウ  
タリオピッタ」も開催中ですの  
でホームページをチェックして  
ください。他にも、札幌駅や  
道庁ロビーでのアイヌ文化発信

パネル展や工芸品展、PRイベントなどウポポイ  
三周年を記念した連携事業が数多く計画されていま  
すので、参加してみてください。

コロナ禍での開園から三年、気持ちを新たにここか  
らリスタート。これからもウポポイを応援してくださ  
いね。



今回のテーマは「アイコッチェブ(アカエイ)」  
本田優子(札幌大学教授)が担当します。



ウポポイ  
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK  
民族共生象徴空間

JR白老駅から徒歩約10分



ウポポイPRキャラクター  
「トウレツポん」



イランカラプテ  
「ごんにはち」からはじめるよ。

- 本田優子(ほんだゆうこ):金沢市生まれ。札幌大学教授。北大卒業後11年間平取町二風谷に住み、アイヌ語講師を務める。
- 村木美幸(むらきみゆき):白老町生まれ。アイヌ民族文化財団常勤理事。先住民族アイヌの一員として文化継承活動に努める。
- 山丸ケニ(やままるけに):白老町生まれ。アイヌ民族文化財団職員。ウポポイでアイヌ語体験プログラムを担当する。